

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その34

文：薄 定雄 さん

井谷の秋葉神社と力石伝説

新郷の井谷集落は、昔、東西南北4本の道が交わる小規模ながら交通の要でした。その4本の道が交わる集落の中心地に大山祇命(おおやまづみのみこと)を祀る山神社の社があり、その境内に秋葉神社があります。

秋葉神社は「火伏の神」として古くから信仰を集めています。火伏の神としてすぐ思い出されるのが天狗で、神の使者として空想上のものといわれています。

また、この神社には5個の力石があって、祭りの時に若者たちが持ち上げて競い合い、娘たちに力自慢をアピールしていました。

現在、力石は道路工事で境内が削り取られたときに1個行方不明となり、4個のみが残されています。

井谷にはこの力石と天狗にまつわる話が伝わっています。丹藤明氏の「西会津ふるさとの伝説」(昭和60年8月発行)には、「天狗の力石」として次のように紹介されています。

井谷のお宮の境内がまだ広く、昼なお暗く杉の大木がうっそうと茂っていた頃、村に団平という暴れ者がいて、近村でも一番の美人おしんに思いを寄せていました。ある日、団平はお宮参りに来たおしんに無理無体な乱暴をしようとした。その時、「があがあ」という鳴き声とともに天狗が舞い降りて団平を捕まえ、「社前で乱暴を働くものは許しておけないので成敗する。だが、わしの言うことを聞いて、明朝もう一度この場に参れ」と言い残し、さっと消えてしまいました。

翌朝、団平は天狗に言われたとおり神社へ行くと、天狗が待っていて、いつのまにか用意した5個の石を指さし、「これを全部持ち上げたら許してやる」と言いました。団平は勢い込んで持ち上げ始め、最後の石に手をかけたが押しても引いてもびくともせず、さすがの力自慢もどうすることもできませんでした。その時、天狗は「今までの非を改め、まじめな人間になるなら許してやる。もう一度持ち上げてみよ」と言い、すっかり非を悟った団平が石を持ち上げると軽々と上がりました。

その後、団平はおしんと夫婦になり、紙すきを生業として幸せな生涯を送ったという。



秋津神社と今も境内に残る力石



お知らせ

平成30年12月から運用を開始している西会津町の公式ウェブサイト「なじよな町、西会津。」と、公式ホームページのQRコードを掲載します。皆さん、この機会にぜひご覧ください。



お知らせ



今月の表紙

1月10日、こゆりこども園で行われた小正月行事の「だんごさし」より。自分たちで上手に丸めた団子を、苦戦しながらも真剣なまなざしでミスキの枝に刺していく園児らの表情が印象的でした。(6ページに関連記事)